

JGTO キッズゴルフ
応援プロジェクト

supported by

RICHARD MILLE
RMJAPAN
Foundation

第18回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市

大会レポート

2021年11月20日(土曜日) 三木ゴルフ倶楽部 西コース(兵庫県三木市)



- ◇ 昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされたスナッグゴルフ全国大会だったが、復活開催の今年は7月の東日本に続いて天候に恵まれて実施された。
- ◇ 沖縄県から愛知県までの21校104名が参加。選手・引率・応援・ボランティア等を含めた総勢約400名が来場。都道府県予選会は13地区で実施。21校中、初出場が12校と、東西分割開催により、これまで出場が叶わなかった地域に沢山のチャンスが生まれた。
- ◇ 万全な感染症対策を講じての復活開催は、西日本と東日本に分割しての開催となり、秋の全国大会は阪神淡路大震災の復興支援の一環として、兵庫県三木市にある、三木ゴルフ倶楽部で行われた。https://www.jgto.org/jgto_pc/link_doc/HEALTH_CHK.pdf
- ◇ 新型コロナ感染症は落ち着きを見せていたものの、万全な対策を講じて安心安全な大会運営を心掛け、プレー中のマスクの着用は必要なしとしたが、各学校各保護者の指導に従うという取り決めのもとで、プロはプレー中とステージ上で濃厚接触の無い場面でマスクを外して出演した。



- ◇ ジャパンゴルフツアー選手会の協力により、深堀圭一郎プロをキャプテンに、桑原克典プロ、増田伸洋プロ、山下和宏プロ、久保谷健一プロ、横尾要プロ、上平栄道プロが、JGTO ドリームチームとして参戦。子どもたちと、同じクラブ、同じボール、同じ距離でガチンコ対決。



- ◇ 従来、JGTO ドリームチームは 6 人で編成されるが、過去の対戦成績が小学生チームに対して 8 戦 5 勝 1 分 2 敗で負けるわけにはいかないと、何としても勝ちたいベテランチームは、過去に参戦経験のある 3 人を含む、プロ 7 人の布陣を組んで参戦。
- ◇ 大会運営は、地元・三木市から、三木商工会議所青年部、三木市スポーツ推進委員会、関西国際大学の学生さん、そして参加校からもボランティアさんがサポート。受付やスコアラー業務、カレーライスの提供、コース設営や撤収等円滑な運営にご尽力いただいた。



- ◇ 更に、全国大会への出場が叶わなかった児童や、地元から希望があった児童などによる、「キッズキャディ」が、JGTO ドリームチームのプロゴルファーをサポートした。プレー中はクラブを持ったり、ドリンクを差し出したり、ラインを一緒に読んだり、なかなかの貫禄も見られた。



◇ 開会式での選手宣誓は、前回大会の優勝校・広島県東広島市立東西条小学校を代表して6年の澁谷和美(なごみ)さんが大役を務めた。マスクは和美さんが自身で持って宣誓をする段取りだったが、久保谷健一プロがステージを飛び降りてマイクを差し出すシーンがあり、「プロ」というより「お父さん」の優しさがとっさに行動に出た、ほのぼのとした雰囲気で大大会が開会した。



- ◇ 深堀圭一郎プロをキャプテンとした、JGTO ドリームチームのプロの皆さんは、プレー中もプレー外でも、子どもたちとの交流を自ら図って頂き、子どもたちの期待に応えるファンサービスに徹して頂いた。



- ◇ 上平栄道プロは、スタートホールでの1番パー5で、第1打目が直接フラッグにくっつく、「コンドル」を記録!!! のっけから子どもたちを大興奮させた。



- ◇ 競技は、強豪県である広島県代表の、東広島市立三ツ城小学校が優勝して 6 回目の全国制覇という偉業を達成。準優勝は前年度覇者の東広島市立東西条小学校、第三位には沖縄県代表の伊江村立西小学校が初の入賞を果たし、来年度のシード権を獲得した。



- ◇ ベストスコア賞を獲得したのは、優勝した東広島市立三ツ城小学校 5 年と 3 年の兄弟。近い将来プロの世界でも兄弟で活躍する日が来ることを期待したい。



- ◇ そうそう、JGTO ドリームチームの皆さんには、恒例の PPAP でパイナップルを片手に、リズムカルなダンスも披露して盛り上げて頂いた。



- ◇ 全国大会と並行して、来賓及び関係団体による、感染対策を施しての「ランチミーティング」が開催され、「ゴルフのまち三木市」でのジュニア育成をテーマに様々な意見交換が行われた。出席は、三木市仲田一彦市長をはじめ、三木市ゴルフ協会、三木商工会議所青年部、一般社団法人西宮市ゴルフ協会、三木市産業振興部ゴルフのまち推進課、三木ゴルフ倶楽部、一般社団法人日本高等学校・中学校ゴルフ連盟、日本スナッグゴルフ協会、そして一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)など。

- ◇ 大会翌日には、社会学習見学として、神戸市にある「人と防災未来センター」を見学し、阪神淡路大震災からの復興について学んだ。

- ◇ 全国大会の様子は、YouTube にて、1 月下旬に放送予定。



●JGTO オフィシャルホームページ掲載記事

快晴の空のもとスナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会が開催

<https://www.jgto.org/pc/OtherTopicsDetail.do?year=2021&tournaKbnCd=0&conferenceCd=000&languageKbn=0&administerNo=723>

11月20日(土)に兵庫県の三木ゴルフ倶楽部 西コースを舞台に、『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リンシャルミルジャパン基金』第18回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会 in 三木市が開催。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止を余儀なくされたが、今年は十分な感染防止対策を講じて2年ぶりとなる開催が実現した。

また、今年は東日本大会(福島県西郷村)が7月にグランディ那須白河ゴルフクラブで行われ、今回は西日本大会(兵庫県三木市)という2回に分けた形式で実施された。



今回の西日本大会には21校105名が出場。大会当日は朝から快晴で風もなく、絶好のゴルフ日和となり、半袖でプレーするスナッグキッズたちも多く見られた。2年ぶりとなる全国大会、朝の練習時から元気いっぱいの子供たちは秋晴れの空のもと、日頃の練習の成果を目一杯見せてくれた。

競技は9ホール(507ヤード・パー36)で行われ、各チームの上位3人の合計スコアで競われる。

優勝したのは70ストロークで16年連続16回目の出場となる東広島市立三ツ城小学校(広島県)。8ストローク差の2位には東広島市立東西条小学校(広島県)、3位には伊江村立西小学校(沖縄県)が入った。



東広島市立三ツ城小学校は毎週、広島県の名門コースである「広島カンツリー倶楽部八本松コース」で練習をしており、全国優勝をこれまでに5回成し遂げている超名門校。キャプテンの中谷菜摘さん(6年生)に優勝したことについて聞いた所、「とても楽しかったし、いい思い出になったので来て良かったと思います。勝てたのもチームのみんなで心をつにしたらだと思えます」と話してくれました。



また、今大会もJGTOドリームチームを結成してスナッグキッズ達に混じって真剣勝負を繰り広げた。

今年のメンバーはキャプテンの深堀圭一郎をはじめ、桑原克典、増田伸洋、山下和弘、久保谷健一、横尾要、上平栄道というレジェンドプレーヤーが集結。

増田は10年ぶり、山下と上平は6年ぶり、それ以外の選手は初出場ということで、スタート前の練習から真剣モード。それぞれこうした方が飛ぶなど、お互いにアドバイスをし合いながら入念に調整した。



結果は71ストロークで惜しくも1打届かなかったが、スナッグゴルフという競技でもプロの巧みなプレーを魅せてくれた。また、上平は1番ホールのパー5でホールインワンし、コンドルを達成した。

(以下選手コメント)

●深堀圭一郎「スナッグゴルフをたくさんやっている人がいるんだなと改めて感じました。何より大きなイベントとして定着しているのは皆さんの努力の賜物だと思いましたね。クラブの使い方も初めて知ったし、子供たちと自分がどれくらい出来るのか比べたり、逆にその子たちに何か伝わるものがないかと思いつきながらやりました。もともとゴルフ好きな我々が子供たちとゴルフができる楽しみを感じながら今日は出来ました」

●桑原克典「スナッグゴルフをやるのは初めてで、意外と面白かったですね。子供だったら楽しいし、中々普通のツアーではこんな楽しい感じはないので良かったです」

●増田伸洋「参ったの一言(笑)子供たちのレベルがすごい上がっていて、すごく楽しかったです。こういうイベントがもっともっと増えるといいですね。」

●山下和宏「久しぶりにスナッグゴルフをやりましたけど、とても難しかったです。でもすごく楽しかったです。みんなが一生懸命やっているからそれに連られて色々気づかせてもらうこともありました」

●久保谷健一「今日はすごく学びました。強いチームとも一緒にまわりましたが、スナッグゴルフのことを良く知っていますね。僕らはこうやれば上手いだろうとゴルフをやっているけど上手いかないんですけど、彼らはそういう風にならない様にちゃんと打つし、色々な打ち方を知っていますね。それがゴルフにも通じますから勉強になりました、今日は回って良かったです」

●横尾要「子供から元気を一杯もらって楽しかったです。子供は元気ですね。」

●上平栄道「2回目の参加ですけど、スナッグゴルフは面白くて小学生くらいにから始めるならすごく良いスポーツだなと思いました。色々話も出来ましたし、すごく楽しくさせていただきました」

<<第 18 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村成績>>

『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リサーチミルジャパン基金』

第 18 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市

三木ゴルフ倶楽部 西コース 9ホール 507ヤード パー36

★優勝 東広島市立三ツ城小学校(広島県)70 ストローク

2位 東広島市立東西条小学校(広島県)78	3位 伊江村立西小学校(沖縄県)80
4位 神戸市立井吹東小学校(兵庫県)83	5位 播磨町立播磨南小学校(兵庫県)84
6位 尾道市立御調中央小学校(広島県)84	7位 神戸市立塩屋北小学校(兵庫県)85
8位 南山大学附属小学校(愛知県)88	9位 三木市立志染小学校(兵庫県)92
10位 三木市立自由が丘東小学校(兵庫県)94	11位 宇部市立東岐波小学校(山口県)98
12位 西宮市立浜脇小学校(兵庫県)99	13位 西宮市立神原小学校(兵庫県)99
14位 三木市立広野小学校(兵庫県)102	15位 糸島市立東風小学校(福岡県)102
16位 岡山市立芳明小学校(岡山県)104	17位 宮崎市小学校選抜(宮崎県)105
18位 加東市立東条学園小中学校(兵庫県)109	19位 桑名市立星見ヶ丘小学校(三重県)112
20位 うるま市立伊波小学校(沖縄県)112	21位 高松市立栗林小学校(香川県)121

★JGTO ドリームチーム 71

【個人賞】

●ベストスコア賞

青コース 24 ストローク 12 アンダー 大谷侑也(東広島市立三ツ城小学校 3年生)

赤コース 22 ストローク 14 アンダー 大谷颯也(東広島市立三ツ城小学校 5年生)

★JGTO ドリームチーム 増田伸洋・横尾要 23 ストローク 13 アンダー

●ホールインワン賞

青コース 2 番ホール 20 ヤード 笹子大貴(西宮市立神原小 4年)、宮本航汰(三木市立広野小 5年)、栢田龍和(東広島市立三ツ城小 3年)、歌田龍真(東広島市立東西条小 5年)、石川航輝(うるま市立伊波小 3年)

青コース 5 番ホール 23 ヤード 赤野紗也(神戸市立井吹東小 6年)、大谷侑也(東広島市立三ツ城小学 3年)

青コース 8 番ホール 17 ヤード 三好潤弥(播磨町立播磨南小 6年)、赤野紗也(神戸市立井吹東小 6年)

赤コース 8 番ホール 17 ヤード 佐藤里優(南山大学附属小学校 6年生)、

●アルバトロス賞

青コース1番ホール 81 ヤード 黒崎玲名(神戸市立塩屋北小 5 年)、大島来紗(神戸市立井吹東小 3 年)、名嘉真なゆ(伊江村立西小学校 6 年生)

赤コース1番ホール 81 ヤード 田中映志(三木市立志染小学校 6 年生)、藤原いぶき(加東市立東条学園小中学校 5 年生)、大谷颯也(東広島市立三ツ城小学校 5 年生)、奥田拓途(東広島市立三ツ城小学校 5 年生)、森本万葉(東広島市立東西条小学校 5 年生)

赤コース4番ホール 79 ヤード 田中映志(三木市立志染小 6 年)、大谷颯也(東広島市立三ツ城小 5 年)

社会科見学会を実施(11月21日)<スナッグゴルフ全国大会>

<https://www.jgto.org/pc/OtherTopicsDetail.do?year=2021&tournakbnCd=0&conferenceCd=000&languagekbn=0&administerNo=719>

『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リサーチミルジャパン基金』第 18 回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会 in 三木市は、秋晴れの晴天に恵まれ盛大に開催され、全国から集まった選手たちは大会の翌日に、「震災復興について学ぼう」と、社会学習見学に参加した。



1995年1月17日に突然起こった大地震は、近年の首都大災害としては備えが十分ではない中での発生で、多くの犠牲を伴ったが、一方で多くの教訓も残した。

その後、2011年3月11日に発生した東日本大震災では、津波という新たな災害の発生とはなったものの、阪神淡路大震災での教訓が、多くの場面で生かされたようだ。

スナッグゴルフ全国大会に出場した児童たちは、いずれの震災も記憶にない新しい世代ではあるが、「人と防災未来センター」を訪問して、当時の様子を展示や映像で学んだほか、語り部の方の実体験を交えたお話しで、臨場感あふれる身近な災害として真剣に聞き入っていた。



東日本大震災の復興支援として、

2013年から宮城県、そして2016年から福島県で開催のスナッグゴルフ全国大会は、コロナ感染症からの復興も願って、今年2021年からは東西分割により、兵庫県でも新規開催となり、引き続き青少年の健全育成と震災復興による教訓を学ぶというテーマでも、子どもたちには沢山の経験による成長を応援していける大会として末永く継続していけることだろう。



三木でスナッグゴルフ全国大会

市内3校出場、志染小9位

西日本の小学生が集まった「スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in三木市」（神戸新聞社後援）が20日、三木市細川町垂穂の三木ゴルフ倶楽部で開かれた。21校104人が頂点を目指し、広島県東広島市立三ツ城小学校が優勝に輝いた。三木市からは3校が出場し、市内最上位は志染小学校の9位だった。
（篠原拓真）



優勝カップとメダルを受け取った東広島市立三ツ城小学校の選手ら＝三木市細川町垂穂、三木ゴルフ倶楽部

21校104人が熱戦展開 優勝は広島・三ツ城小

スナッグゴルフはゴルフ初心者向け競技として誕生し、プラスチックのクラブとテニスボールに似たボールを使用する。大会は日本ゴルフツアー機構と日本スナッグゴルフ協会が主催し、今回で18回目を迎える。従来は福島県で催した全国大会だが、コロナ禍での移動問題などから今年は東西で開催。西は三木市が大会の地となり、東海・沖縄の各校が集結した。また、JGTOドリムチームとして、ゴルフアの深堀圭一郎プロら7人も参加した。

汗ばむほどの晴天となったこの日。子どもたちは9ホールをプレーし、チーム上位3人の合計スコアで順位を競った。中には大人顔負けの腕を披露する選手もあり、計10個のホールインワン、7個のアルバトロスが記録されたという。

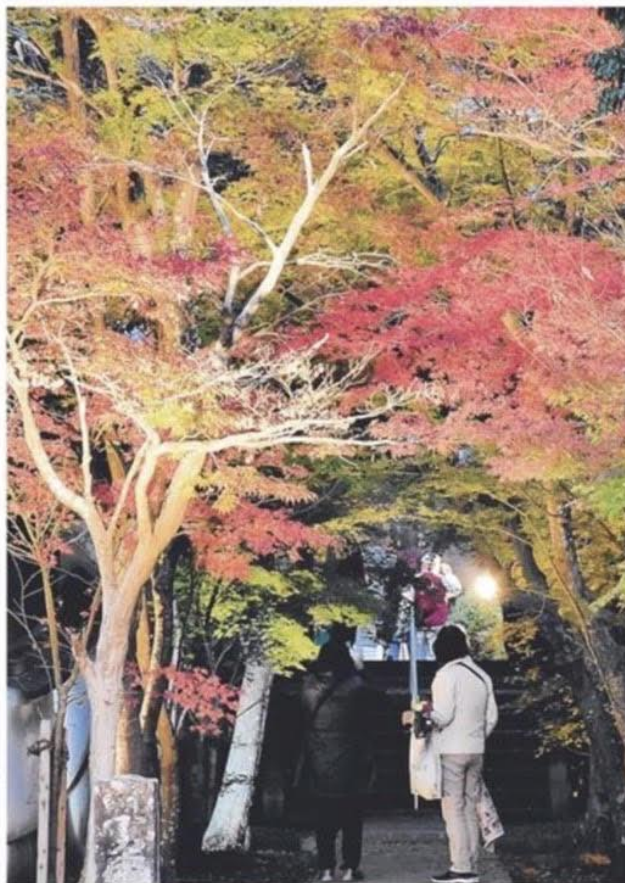
三木勢は志染小学校が9位に。同小6年の五百蔵あ

かり主将(12)は「チームは予選より13打減ってベストスコア。練習の成果が出ました」と笑顔で話した。

10位に入ったのは自由が丘東小学校。表彰式での代表あいさつを務めた同小6

年の安宅優愛主将(11)は「ドライバーやアプローチなど、本来の力が発揮できなかった」と悔しさをにじませ、「後を継いでチームを作ってほしい」と3年生選手にバトンを託した。

14位だった広野小学校5年の宮本航河主将(10)は「ホールインワンを出すなどベストを出せた。来年も全国大会に出場し、今回よりもっといいスコアを出したい」と力を込めた。



ライトアップによって際立つ紅葉のトンネル＝慈眼寺

三木・慈眼寺ライトアップ

紅葉のトンネル輝く

きょうまで

三木市久留美の慈眼寺で20日、紅葉のライトアップが始まった。参道などに植わるモミジやイチヨウの木

々が照らされ、境内は幻想的な雰囲気包まれた。同寺は648年に法道仙人によって創建されたと言

い伝わる。紅葉のライトアップは同寺総代と、檀家有志でつくる「好友会」が10年以上前に始め、秋の恒例行事となっている。

この日の点灯は午後5時前から始まり、好友会のメンバーが投光器で境内の木々を照らした。紅葉は色づ



Bellmark Shimbun ベルマーク新聞 12月号

2021年(令和3年)12月10日(金曜日)

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JET両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

待ちに待った!一輪車講習会が再開

静岡・浜松市立熊小 / 岐阜・高山市立本郷小



①②③静岡・浜松市立熊小で ④岐阜・高山市立本郷小で

ベルマーク財団のへき地支援ソフト事業、一輪車講習会が今秋、再開しました。昨年度はコロナ禍のため全面中止となりましたが、感染対策を十分に取って再スタートしました。

第1回目は11月8日、静岡県浜松市立熊小学校(西田亮校長、児童13人)。本来は7月の予定が大雨で延期になり、待ちに待った開催です。熊小は一輪車が「校技」で、体育の授業でも採り入れています。独自の検定もあり、子どもたちが切磋琢磨して一輪車を楽しんでいるそうです。

インストラクターは静岡市からやって

来た長坂綾さんと、瀧口夏穂さん。いろいろな賞をとっている一輪車のエキスパートです。2人の模範演技に続いて、子どもたちが、明るく元気な音楽に合わせて日ごろの成果を披露しました。「みんなとても上手。きょう指導でやろうと思っていたことが全部できていたのでどうしよう」と、長坂さんは笑顔でちょっと困り顔。子どもたちの笑顔も弾けます。そのあとは「バック」「アイドリング」「スピン」の3つに分かれて教わりました。最後に児童を代表して6年生の森下祐花さんが「一輪車が楽しく乗れました。教えてくれてありがとうございます

と」あいさつしました。

11月22日には岐阜県高山市立本郷小学校(可児慎吾校長、児童58人)で一輪車講習会が開かれました。一輪車は「この講習会で一輪車をもっと盛んになってくれば」といいます。

講師は佐藤彩香さんと高田朝日さん。ともに世界大会などで優勝や上位入賞を数多く経験した第一人者です。華麗な模範演技にみんなうっとり見とれた後、1～3年生と4～6年生に分かれ、1時間弱ずつの実技指導に入ります。一輪車の調整と乗り方を教わり、体育

館の壁伝いに、補助してもらいながらゆっくりと進む練習を繰り返しました。少し乗れるようになった子は「難しかったけれど、少してきてよかった」。

講師の2人は「みんな練習に飽きずに、終わりまで真剣に取り組んでいたことが印象的でした」と話しました。

みなさん、頑張りましたね!!



ベルマーク持参でスナッグゴルフ

兵庫県三木市で西日本の大会

ベルマーク財団が後援するスナッグゴルフの全国大会が11月20日、兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催され、小学生104人が参加しました。会場にはベルマークのブースが設けられ、選手や保護者がマークを持参。三木市提供の箱入りの爪切りと交換しました。ちなみに三木市はベルマーク収集にも力を入れています。この日集まった2400点余は財団に寄贈され、困っている学校の支援に役立てられます。

大会名は一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)などが主催する「第18回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ全国大会 in 三木市」。コロナ対策で東西分割となった西日本大会です。21の小学校チームと、プロゴルファー7人の「JGTO ドリームチーム」が競い合った結果、東広島市立三ツ城小学校が優勝。キャプテンの中谷菜摘さん(6年)は「見守ってくれた監督、コーチ、



保護者のみなさんのおかげです」と話しました。2位は東広島市立東条小学校、3位は沖縄県伊江村立西小学校でした。プロのドリームチームは1打差で残念ながら優勝チームには及びませんでした。

大使から感謝状

福岡市立姪浜中の生徒会に

福岡市立姪浜中学校(田上健二校長、生徒920人)の生徒会に11月17日、ベルマーク大使の脇川雅之さんから感謝状が贈られました。コロナ禍の中、校長の提案で昨秋から生徒会活動としてベルマーク収集のボランティアに取り組み、約1万5000点を集めて財団に寄贈したのです。脇川さんは資料提供などで協力しました。受け取ったのは第75期生徒会の青木太希会長。「ベルマークを通して、全校生徒が一つの目的に取り組むことができました。この経験を今後に生かしたい」と振り返りました。



●製作物・掲出物・ご提供商品



ベルマークを 10 点以上持ち寄ると記念品をプレゼント!!!

- 株式会社TSI: 「ジャックバニー・キャップ」
- ハウス食品: 「めざまるカラダ朝カレー」
- 三木市物産店・山田錦の館: 「地元のお米キヌヒカリ」と「コロッケ」
- ゴルフのまち・金物のまち三木市と三木市ゴルフ協会: 「三木市産爪切」(ベルマーク 10 点以上と交換) ※約 2,400 点が集まりベルマーク教育助成財団を通じて困っている学校支援に役立てられる。
- 公益財団法人ベルマーク教育助成財団・協賛会社・株式会社ファインプラス: 「マスク」
- ジャパンゴルフツアー選手会: ミネラルウォーター「ふじざくら命水」1,200 本

JGTOキッズゴルフ応援プロジェクト



リシャールミルジャパン基金

特別協賛

TSI Inc. 株式会社TSI



ディライトワークス株式会社

助成



公益財団法人 ジュニアゴルファー育成財団

協賛・寄付

※五十音順

株式会社インプレッション／栄和リサイクル株式会社
株式会社キヌガワプランニングオフィス／株式会社コーベヤ(稲田三郎)
秀明印刷株式会社／JA福島中央会／スナッグゴルフジャパン
総合リゾートライフ株式会社／大和リース株式会社／有限会社高橋啓之設計事務所
株式会社テクノクラフト／株式会社ニューカルチャーラボ
弁護士 中野辰久(東京弁護士会)／日本スナッグゴルフ協会／西郷村
ハウス食品株式会社／医療法人ひまわりこどもクリニック／株式会社プラグインプロダクツ
株式会社フレンド企画／富士産業株式会社／株式会社プレジャー
ポエック株式会社／株式会社 松永カントリークラブ
ブライシス株式会社／株式会社リンク

支援プロゴルファー

青木功	中藤嶋常幸	倉本昌弘	谷口徹
横尾要	藤田田寛之人	深堀圭一郎	桑原保克
宮本勝昌	谷原川秀	小山下孔	久保平
池田村弘	石川井邦	山宮下里	上浅地
川重永斗	川上増伸	小宮平	塚小田
稲森佑貴	増額賀辰一	竹賀嘉智	小時内
出水大也	比大	木真	
星野陸也	片岡	金	
堀川未夢			

第18回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in三木市の開催にあたりご支援を頂き厚く御礼申し上げます。